

I 組織の使命

土木部のミッション（使命）は、

市民や地域の視点に立ち、安全・安心な生活と地域経済を支える社会資本（道路・河川・緑地）を提供するとともに、それらを良好に維持、管理し、公共の福祉の増進を図ることにあります。

II 組織の基本方針

次の5項目を基本方針として定め、土木部の使命を果たすため、積極的な取組みを進めます。

○ 人にやさしい安全・安心なまちづくり

災害に即応できる体制づくりと生活基盤となる道路・河川・排水路の整備推進および適正な維持管理に努めます。

○ 水や緑が豊かで快適な空間の提供

自然と調和した潤いのある環境の創出と維持を行います。

○ 広域交流ネットワークの形成

都市に活力を与え、機能的な都市活動を維持・増進するため、広域幹線道路をはじめとした幹線道路の整備を促進します。

○ 各関係機関との連携と協働

土木行政推進のため、行政パートナーである市民や地域との積極的な対話を行います。

○ 効率的・効果的な組織運営の推進

職員の資質と技術レベルの向上を図るとともに、効率的な組織づくりと経済設計、コスト縮減に取り組みます。

III 年度評価 総評

土木部は社会資本の提供とともに、良好な維持、管理を実施し、公共の福祉の増進を図ることを使命として、5つの基本方針に基づき各種事業を展開してまいりましたが、一定の成果をあげることができたものと考えております。

具体的には、ガーデンシティ函館の実現に向けて各種事業に取り組んだほか、日吉中央通をはじめとした幹線道路、生活基盤となる生活道路・河川の整備のほか、都市公園における遊具施設等の計画的な改修・更新を行い、橋梁については長寿命化修繕計画に基づき、計画的な改修を行いました。

また、駅前広場に「花いっぱい事業」を展開するとともに、観光地や中心市街地に重点を置いた市道の草刈りや雑草の除去などに取り組んだところであります。

今後においても限られた予算・人員を効率的かつ有効に活用し、各種事業を積極的に推進してまいります。

| 区分 | 担当課 | 評価 | 評価の説明 |
|--|--|----------|---|
| <p>1 人にやさしい安全・安心なまちづくり</p> | | | |
| <p>(1) 災害に即応できる体制づくりと生活基盤となる道路・河川・排水路の整備推進および適正な維持管理に努めます。</p> | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 除雪計画に基づき、除排雪作業の効率的かつ効果的な実施に努める。 | <p>道路管理課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 冬期間の円滑な道路交通の確保や快適な生活空間を確保し、安全で安心な市民生活や経済活動が維持できるよう、効率的かつ効果的な除排雪作業の実施に努めた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 災害・異常気象時に迅速な対応を行える体制の整備を推進する。 | <p>道路管理課 道路建設課 公園河川管理課 公園河川整備課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 防災協定に基づき、関係機関と連携し、災害時に対応できる体制維持を図った。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 市民に身近な生活道路の整備を推進するとともに、道路・河川・排水路の適正な維持管理に努める。 | <p>道路管理課 道路建設課 公園河川管理課 公園河川整備課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 策定した計画等に基づき、計画的かつ効率的に整備を進めた。 大雨等により崩壊した箇所や老朽化が著しい箇所の補修を行ったほか、河道内の土砂の除去や支障木の伐採を行った。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 橋梁の長寿命化のため、計画的な維持管理に努める。 | <p>道路建設課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 橋梁長寿命化計画に基づき、計画的な修繕等を実施した。 |
| <p>2 水や緑が豊かで快適な空間の提供</p> | | | |
| <p>(1) 自然と調和した潤いのある環境の創出と維持を行います。</p> | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 観光都市函館にふさわしい景観を備えたまちづくりを推進するため、道路や函館山などの整備を推進する。 | <p>道路建設課 公園河川整備課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> ガーデンシティ函館の実現に向け、湯の川地区において景観に配慮したブロック舗装とデザイン照明を取り入れ、街路樹をサクラに変更することで、優れた美観となる整備を行った。 函館山の整備を推進するため、函館山緑地遊歩道整備計画に基づき、遊歩道整備および落石対策を実施した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 緑の育成と保全を図るため、市と市民が一体となって緑化を推進する。 | <p>公園河川管理課 公園河川整備課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 緑のパートナー会議を開催し、函館山の整備に意見を反映させた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 子どもや高齢者をはじめ、誰もが快適に公園を利用できるよう整備を推進する。 | <p>公園河川整備課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 公園施設長寿命化計画に基づき、都市公園の老朽化した遊具施設等の改築、更新を行った。 |

| | | | |
|--|---------------------------|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 道路等の草刈りなど維持管理の徹底を図るとともに、美化活動を推進する。 | 道路管理課 公園河川管理課 | B | <ul style="list-style-type: none"> 道路等の草刈り、清掃を実施し、美化活動の推進を図った。 |
| 3 広域交流ネットワークの形成 | | | |
| (1) 都市に活力を与え、機能的な都市活動を維持・増進するため、広域幹線道路をはじめとした幹線道路の整備を促進します。 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 圏域相互の連携強化を図り、広域幹線道路の整備を促進する。 | 道路建設課 | B | <ul style="list-style-type: none"> 国交省、開発局および北海道に対して整備促進を図るための要望活動を実施した。 整備促進に向けた啓発活動を実施した。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 函館新外環状道路の整備効果を発現させるため、関連道路網の整備を推進・促進する。 | 道路建設課 用地管理課 | B | <ul style="list-style-type: none"> 事業者である開発局・北海道との連絡調整や協議を随時実施するとともに、事業実施に必要な地権者への事業説明等の地元調整を図るなど事業の進捗に努めた。 主要渋滞箇所である日吉ICとのアクセス向上のため都市計画道路の整備を進めた。 |
| 4 各関係機関との連携と協働 | | | |
| (1) 土木行政推進のため、行政パートナーである市民や地域との積極的な対話を行います。 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> 各種会議等の開催時や日常業務のなかで、市民や地域との積極的な対話を行う。 | 部全体 | B | <ul style="list-style-type: none"> 町会において地区別に開催する環境整備懇談会を通じ、地域の現状把握や意見の反映に努めた。 |
| <ul style="list-style-type: none"> スノーボランティアサポートプログラムなど市民協働による維持活動を行うことで連携を深めるとともに、地域からのニーズの把握に努める。 | 道路管理課 | B | <ul style="list-style-type: none"> スノーボランティアサポートプログラム制度において、87団体、延べ321回365人により、地域除雪活動を市民協働で行った。 |
| 5 効率的・効果的な組織運営の推進 | | | |
| (1) 職員の資質と技術レベルの向上を図るとともに、効率的な組織づくりと経済設計、コスト縮減に取り組みます。 | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> より円滑で効率的な組織づくりへの取り組みを継続する。 | 部全体 | B | <ul style="list-style-type: none"> 各課が抱える課題解決に向けた協議・検証を行った。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 公共事業の評価、審査、監督および検査などチェック機能のレベルアップを図る。 | 道路建設課 公園河川整備課 道路管理課 | B | <ul style="list-style-type: none"> 「設計変更ガイドライン」に基づき、適正な設計変更を行ったほか、債務負担行為の活用による施工時期の平準化を図った。 |

| | | | |
|---|------------------------------------|-----------------|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 適切な維持管理計画を立案し、コスト縮減に努めるとともに都市景観の向上と緑化意識の高揚を目指す。 | <p>公園河川管理課 道路管理課 道路建設課</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> ボランティアサポートプログラム事業については、国道5号函館新道や道道空港線など市内への入口となる道路において、植栽活動を実施した。 町会による沿道花植え前に、植樹柵の草刈りを実施したほか、沿道花いっぱい運動では、沿道町会等の46団体の協力を得て、25路線の沿道に花を植えた。 生活道路の車道における舗装構成の見直しを行った。 |
| <ul style="list-style-type: none"> 職員の技術的能力は元より総合力を高めるため、各種研修に積極的に参加させる。 | <p>部全体</p> | <p>B</p> | <ul style="list-style-type: none"> 各種技術研修等へ積極的に参加し、職員の能力向上を図った。 |